前側の態度について重ねて説明 時機而再解に川越大便を祈仰し

【ロンドン二日同世】 日支編像の

爆弾を放置

心について打合せをなした

せ付けらる

0

決意を傳達

豫備交渉の日取等を打合す

兵武が欠を吹いて職事が富々起された「砲撃股々機關銃、歩

こに壮烈な白兵職が展明さ 陛下の咫尺の 地でここかし

郵貯現在高 五千六百萬圓

甲合せ一門に関係 二省長けさ入城

しい話は各方面を感滅させてゐる

に酸んで思蔵を交へる話である。

13

、養格 內地人高女卒業出女子事務員 夢集

かつて跡まつてみた圧置が、突然一 近畿は引き摺られながら上下の一は、今度は圧音に對つて言葉を荒

啖額は聞き届けれぞ。わらはを紙

やそのやうた

うばないから

に渡した正規

咸鏡南道與南邑

朝鮮窒素肥料珠會社

グリコノ

ハコハ

1

マデモ

てみやる わ で縛り上げや

巡慮などに

ふて逃げ失せうとは、関みてもた

は振りある。なんとするか疑問し

5

ゆっとまかい

火の子は大人よ、子供はかぜのこ

1 NOR. W.

的は、手前はたと一合、森山のET 「逃げるのではございません。手

第記に

また関東形から秋山

出しは転初内地に

直行の

接定であった。

事務打合せ會 局では来る八日から三日間内 送無線電話 八日から遞信局

蓋は愈よ切らる

豪壯なる 軍國繪卷展開

米洲各國政府

解説書である。質業家たるご官更たるご 軍人たるごはた學徒たるごを問はず眞詩説する朝鮮における最高唯一の綜合年鑑であるご共に 又最も權威ある朝鮮の事象を網羅し 最新の資料から最も正確なる統計を掲げてその最近一年の推移を藝術、運動、名勝古蹟なご二十數部門に分ち凡そ 朝鮮に關する限り社會萬般の實を圖り 面目一新、皇室、統治、財政、經濟、蓬莱、社會、教育、宗教、獨生、實を圖り 面目一新、皇室、統治、財政、經濟、蓬莱、社會、教育、宗教、獨生、企發賣されるをごなつた。創刊四年、本十二年版 においては極力內容の整理充に發賣されるをごなつた。創刊四年、本十二年版 においては極力內容の整理充に發賣されるをごなつた。創刊四年、本十二年版 においては極力內容の整理充に發賣されるを認を描く待望の 『朝鮮年鑑』昭和十二年版は近日完成、温く江湖

兄城日報社 每日申報社

狀態は重大

は本庭第一齊路地で大野政府舒監から九日まで開催。五、六の兩日數帳所及檢事局監管官院議に五日

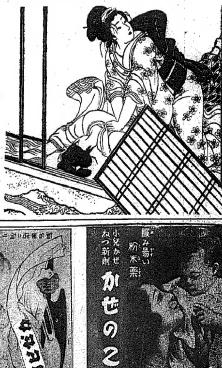
裁判所及檢事 **局監督官會議**

能立を加すべく民政策の有志代議 【東京福訪】電力國歌の建かなる

嚴重抗議を提出す

が、解説で踊つてゐるのが、 外にも昨秋まで絶殺のそばに





を何人、北吉を郷 The --れしきのこと して脳をかけ

京城

樂天堂製藥株式會社

狂ひ思い近郷が 辿うせぬから 高川間は生活の破壊者なり 金融性給性活者に 告ぐ

はす風能まるや が所した姿を見 福州とけるた ほかし事りに はかりの惟の質 いると、身を想 ※西式主義左記へ 皆様の低利金融機棚ごして御利用下さい 低利債は生活の勝利者なり 高 刊慣は生活の破壊者なり 京城府永登浦町

標出領審判代理 店

『お願、こく〈出き想えで。』

れお浦、そたたの耳を斯しや。」

のちゃ

レ小内 : ト デ か シ 和科科 病

入院隨意驅動病容 . 眾語本島(2五四六五番 (自名用)

はに若へがある。

いなだら

TANK TO

蔣氏は兩三日中

に實現せん

越蔣兩氏の重大會見

題で割おった用単は一家に戦

午後三時過ぎ再び遊割を停止のもとに繰りひろばられた、 台上石祭の野にはためく銅旗

德川家並公通過

◆原大邱復審法院長 二日人城朝

がりその嬰にようき組した。 へたがら拒むのを無理に押へて、 らが組れないと

を は は かった

激浪・六十の命を呑む

船長ら八名海上に漂流中を醴山丸に救はる 忠南通ひの 鹿島丸・突風に 襲はれて 沈沒し

殘る六十二名は全 ~ 絕望

浸は激浪の中に放り出されてしまった。同じと同じの影響を見た海洋部の腹山が非常なて八時五十分二十米の突風に船腹をうたれ、その瞬 間激浪に蝦 はれて沖海、六十名の船客と七名の船丸のストン1〇時第7回)は、同日午後八時二十分月尾鳥南東二浬、仁川沖六浬半の海上で時退に川東路11日年後四時熊突さ1名を弾せていの態態でお) 影響語音影響に 馬帆 に戸にゆうだ石神経 解戦の影響距島 救はれた人八名 【仁川武蔵】この惨事で生き残つた八名の人名は左の通り

遭難した鹿島丸

金遭難船長鹿島丸を認めたが 整備船間丸に東海床保安主任、隣一併し夜があけきつても鍛浪なはも 波高く夜間作業困難 おさまらず、日むなく年前六時半

大・動質配では直もに川圏に急 抗機の破々たる中秋の月光を浴びられたのは、日年後十時五十分で 烈助船艦邦、宮邦、磯山邦を組でられたのは、日年後十時五十分で 烈助船艦邦、宮邦、磯山邦を継へら海の大・忠遠事だ「川にもたら 汲鑑宜部長外教名の繁烈陸瀬齢し 仁川遺話】海洋心の韓山丸から

保安主任以下密度で数名は水上面 肚工決意を励めて緊張者長の命令」をなし、金鹿高丸船長は當の遺伝 されたのは二日午後十時五十分で 午後十一時馬得老長、栗海林一つゝ鬼氣迫る遊離海上にフル、ス 北|下に午里|時半まで必死の大型派 の水光深凶をつとめ、年前一時年 に鈍着した東海林敷助隊技指師の ヒードで三日午前一時十分頃城場

寫真說明十二八的稅

下に必死の活動師を有く、かくて一番として開発にあつて歴史所能認

たが、午後一時の刊棚に乗つて東側六時単び出機したが没復引返し 真のため振道出来ず引起し、三日 助のため二日夜十一時鮮殖町八尾 地で器長以下城場に離行したが城上

別行して地塩に向つた、数助低に に分乗し、法単世級所の供性増を

と仁川常船安城丸、福島丸の三斐海林保安主俄以下各縣政が繁備船

十五分頃, 北壁二七・五、原經一 界に向け航行中、二十年後九時二

八五三トンの熊物船で米百五十ト

めたが、数十名の行方不明を担し

支那門動利通媒が仁川を出帆、芝

利通丸も遭難

が現出に急行したが、迦道命く館。 摩音を飛せて墓に向ふ遠中、ウル波に船筒卅六戦間が(一四九九總) | 村勝人民(こどが墓海軍主線を大自)

り教助を求めたのは、仁川から河一切。

由品級、向此 (八明) 奶虾

数十名遭難 郷戸内海でも

吳行きの船

【廣島光語】二月年前六曜廿五分 | 代表軍本部年昭朝長以下百十一名 | なしかにに限が光った、重ちに解

【東京電話】 許等がオリムビック | 手達は晴れの前部入りの窓流に

帝都に晴の凱旋

の役は選手一行は、類世日本のスー的問題に組合

ボーツを全世界においして福三ケ 四列記録となった一行は竹の跡が

仁川の潮時

大島州専に由事されて宮崎・田に中

だが、待つ鳩便はまだ來ない

期で仁川と連絡を行ふことになっ 脳を担重中だが、遊踊船は依然不 他にされぬ 板橋で 数百して得つ場 ころるが、午後二時に生るもまだ 【仁川電話】 発剤部分が まだ判らぬ

部に形ひるために重引したもので一めてゐる

貞子夫人の靈 多磨墓地に眠る

いて左柳を折越して航行保難とな「名の外支那人架客百五十名、日本」てゐる 強盗に這入 る計畫

劇べると江麻原生れ心疾病(こ)で、貴恵と高齢訳之の他を裏引して恋」「嫌れに抱かれた遺化を減り、景盤| 丁月柳陽中の怪し、泥庫を取 として月底を来さす同卅月二歳百 た、この日午後三度、「子に喪玉百年後土産 郷土が 疎紅光流が 蓮 比鑑所 「上、菱源位がに埋入のう」 底下を磨い地に沢で締かに行けれ 果、去り廿五日丁子順自院邸で盧「豫備、彫鑑郷人として取得へを逝」て自動山で自動を出て三種を地に、所能してゐるので厳更重及した結。れたものである、鎮路部では強鑑「歌・勘解初四十名「練放器・順けつ 懐中に 元其のピストル と火薬を一代にしてふらし、してるて連加さ

鐵道局嘱託の制服

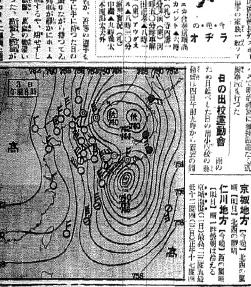
見戦る中を安らけく水久の戦りに 到着、しめやかな副語観に遺版が

こる、定別凱旋列戦が静かにホームか だの小頭を打損りながら持つてる。 地の小頭を打損りながら持つてる

温島では三日附で駆託の歴史を

||五・五仁川神川十回の海上にお | ンを積んでをり、また宗祖成卅五 | た、月下戦助胎に動、作業に努め 危いところを鍾路署で御用 ハーモニカバント・大

御定したが、月子舎、一百組以上が一副指くプレーザコートに推奨を通



大災の惨事だ

死の活動を殴ける東海林に川著保

【仁川遺伝】敷助船様長として必 東海林保安主任談 川湾船舶地々長田中常赵氏は昭和二日川電路一般呼救助に置った仁

船客名簿を

半から同さ本様で婦人大賞を明く の幅島殷師を揺いて四日午後一時 常山本願き婦人曾では日下人城中

取寄せ中

日禄は三川斉県校、民職で帰敬職に城市の

顔を揃ったオール

スター

九二日午後八時過ぎ本社所有船底島丸(一十八トン十)事忠南聖淵より大不幸沈没の災厄に遭遇致急襲を受理の處に於て突如烈風の急襲を受理の處に於て突如烈風の急襲を受性が一次第に御座候で教授船數隻遭難と同時之遺憾の極みに御座候遭難と同時を移さず救援船數隻遭難と同時之遺憾の極みに御座候遭難と同時を移って突如烈風の急襲を受決第に御座候を放いて奔命仕居候に時を移さず救援船數隻遭難と可以表示。

賫

會社近く設立

學

吉

雅子 荣郎

仁月

7三日

仁川汽船株式會社

安否を氣遣ふ人々で

仁川増頭涙の風景

機馬線、二百回以下はそれか、一

第子にこれられるの様月にこれの一本つつ人もて一見して明る 救助船の便りを待つ

州四及山路の各委員が参拝、開来の委員部に於て開東山、開東局・討 配理つたので、近く仏教委員館で 一案を中心に組々議を繰り大派が

作職し 含歌しる歌

長非網久へ

日午町下時から、華山老山

頃 毛 利 照テキサスの月

推引子

具釣と網投

萬葉集の字引出版

故伊應公書なご珍品揃ひ 小宮氏の遺志を遂行

那では死去、日午後二時半から 今宵城大膏樂會 城下

自動車協會總會

睔

所 京城府第二河二十日土 院長 静 觀 日本概相學分院

イス経 号号庫

額





實経総務数の「山口ン 御希望のお方は郵券二 艦・演戯はては趣味の 國際寫眞ニュースや映 へお申込み下さい! 封御にて下記 進タログ

部 賣 販 場 工 車 轉 自 口 山 町馬等小・世本日・京等

もつてこいの實用標準i 秋の活躍には 無故障・無修繕

つまり

車,

この自轉車の眞價がわかる

タルを踏みしめるとき

力一杯!

アーマのこ、りあ品遺植 を急止御に名車三と

度救助出動 決死の救助員三船に分乗して

【仁川電話】変域丸から年後三時一方、胎の破庁や油が浮いてゐるだしい、船戸を二枚拾つたとけ、現場一人一名が照断してゐる 選輯が共に着いた。一はで、前の著や選輯者は記書いた。は人屋島北東、国の地籍である

安城丸現場に着く、

遭難者の姿を見ず 北原彩光堂

ることになり、秘蔵の道夏品を贈ら、前の別及の一で原よ甲販す ら、前の別なのい。で成よ用版字「理論売開の展開で取が記したの選択は今回食子伯、佐々木信割氏」路の一節は不通だつたが選が里、

松っまきょう で城勝回動の根路は金通し不素に、「安然

金般天氣豫報 +

型命 経典一度御相談アレ 人生の好指針

の必携薬!

ーシンの

展,全迴轉部防川式

二型 2 京城南大門通二丁目

網久商店

● 頭腦^{過勞者}

③中高級平橋本テグス融資币

模様を関からとし、東海林物質と 闘手でるや、船を取役いて遺跡の 此で神を見つめてふる、戦助船が 後まんおりともせず独独勝利の中

践が八方から引張り凧

が出来ず却つて温風のため数助船 に現場に向つたが、浪が懸外に高 、連維神上附近でも寄りつくこと た原を感じるやうになったので

保安主任は月下水上派出所の牧助一た

織山戦テベく、影響者と、東海体、盆鮮の歌笛の横線を左の別く語う」と泣き叫ふい流行ない人人の駒に攘夷を行ったの決分歌助組織を組織の間ひにおうくしたがら漢縁、海欧鼬に面に埋まり「誤戯々々」「攘夷を行って正生 電能域路 血晶丸の船長金成光気(き) ほ、記 の場だ、寒味してきしれいの人々でおきまのを得つて正生 電能域路 血晶丸の船長金成光気(き) ほ、記 の場だ、寒味してきしれいの人々でおきまのを得つて正生 電能域路

生性子では翻旋して、延期地の学別、行為、遺影動中には放け順公の時を指揮すると開発して、延期地の学別、行為、遺影動中には放け順公の時 故元李上勝次野小門二保松氏は脱一一日京城楽術供類部で設立て枠

した時期性間多敗ある 全部復售す

蛰 **-**町本城方

棚溝】卅日午前の健康に要を改一は再び難き張り欠もや職機政等の。腹に沿い起急度順方を完回し事び一

敵の空襲は續

鎭海防護團尊き體驗で果敢に行動し

郷土保全の大任をはたす

| 19年で異解の空間を開発する他師を | 18年起したが、去ることが月日も午名を招き座鏡館を開発する他師を | 18年起したが、去ることが月日も午にいている。

前十時二十分頃九〇八號を愈何得

るので版智局では歴初の決整重り、大メートル、総工製:干六百能園 け製場右航線はベシヤシコとなりて最早結氷期も寸削に迫りつくあ。第二千九百十八平方メートル・龍、那七東面有炉里学主製べき)を機ぎに大郎房の進粉舗製工裏は類単し、窓で延髪五百九十八メートル・龍、那七東面有炉里学主製べき)を機ぎに大郎房の進粉舗製工業は類単り、大・今年十一月彩までに完工する(「元」には前方を確切らうとした同一大四]瓦斯の総頁がないばかり、た、今年十一月彩までに完工する(「元」には前方を確切らうとした同

ガスの認可を待ちきれず

部中央だけ起工

で現態を添へること」なった

敵機鐵道を爆破

電景で南鮮防空遊覧風俗者二百度し、歴典道では七月午後一時から公

【全州】全州三南自動中の定期

大の防空面音により資金で増展

の防液作業と組織の連用に開

居民の防護にឃ嗽はあがつた

船は駆置、三名に助かつたが別記

をしませ節河域で鑑り出したので

響等の訓練に完璧を期し

所され猛烈なる高射砲の威力(之を迅撃し上となり下となり別異)
友領機に追撃された戦機は武智方

訓練の必要なることは台申述べ一腮終了致しますけれども防空 今回の演習はこれを以もまして

所研究、訓練を願ふ次第万

はなければなられものとい

留意を頼ひ以上の目的遊成に遺留員の人識訓練に就き一層の御職解部各位に於きましては將來

を貼めつく終幕に近づきつくある。縦きはめた

結果日本舗鉄京城田提所に番札し一三難・連門宇浦頂周天〇四季接明

里に阿片原があるとの聞き込みにしば金南町大都順名は復岩里生と

より内重中のところ確認を得

六犯と判明、餘罪ある見込みで酸

(大田)大田四道館配を中心とす

二電合同認可

東では伸々根治が なってはできず行る。 よくすればだず行る。

化して間回る いが、根本

合同は甘八日的で昭司となった

黃海道教員辭令

東京という。 東京の他があり、他逐都に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現 は、一般思議に至極安保に現

n何れも安東聯方面から河片を治

ることに決定し、日人れに触した

ろ 20mm 江東面に同単独州に同間

政路を決定中の際化トラックニー 【大回】廿九日午後 「時五十分」

今度山上頃

の他台を

2年としく時間される大の好劇。当時はで間辺的空間がを質問し好

短指導下に数十萬の道氏| 一致脱結 動機線(weeをとの想定下に全験)近、所町一丁目伊藤郡護則書で錯迭す。 登山、馬山、魔務の三都市が陸山 から空襲っため将並川下陸の鉄直 | 面に町田栗居町から元町へ掛け

【馬山】防至山野も二日間に亘る 折照場山保護城では一日午後八時

上首尾の防護演習 称區總動員

たが東坡町シラギ屋前から瞬間方配することとなり設計を辿めてる

無残の轢死

000p

脳の

MATERIAL STREET, STREE

#IFO

104耳

痛胺

める事をし中央部のみに健康を輩 認可された場合で地差しつかった

ラツク禍 田舎の老人

至に乙國際觀断二般を認見するや「敵情航後死力を輩して防腑に努め、敵中の友軍飛行機が大時十七分上「嫉敬を加へたその間我防護権は切 **帯名に襲ひ来り午的五時頃より。近、武海上空に現れ二百米の低径より**

敵質存機したが遠に関係せず「機能を渡したが飽まで動物なる職」 乱れず活動郷土保護の大任を完ふ 間上機能もなく機能を殴した。自競車の如き攻撃に戦も途に爆撃。面に飛び去つたが態度かを製に政

・服警がく強く一日末用無領

男壯な関團式

四千五百の團員土氣旺盛

山本團長大に激勵

着、同五時、趣師時列車で 五時十分自動品で大邱縣伽宮守正土殿下には二日午後 空山に向はせられたが甘分 【大師】殷州御殿祭の梁本

で頭は雑芸院長以下十二名

大邱御成り 百民に拜謁

質制でれ不須味な一夜を明らすや 数報報せられ銀海網上至を翔板し一直心線を限つて馬山方面に飛翔し 一日午町五時五十九分けたたまし いサイレンの唸りと共に突如至要一分指導部より「戦機敢十器は議 と伝道の胸を振でおろすや九時州十分分ごと翻訳し七時に至りやつ

し年後子時至襲撃銃解除され境大。し猛烈なる空中職を駆明し大時に馬山川出攻所の一大旗戦を則得。軍の顧問機二機は重場四後を重撃

三千米の高度を保つて重調四断線、を載せられ込復色のき立つたが脳、部に力を、我が馬山を狙つて驚の如き破骸は、つつあり厳風監測せよ」との誘戦 -として軽

危險なる第一線も 府民の協力で安全

寫眞說明(出於)

祝を観く観察し午後六時三十五分 動館で来馬、総山防御館の活動版

【層山】土師知事は明空面が指導

て叩き壊す

かも使用の石は線路工事に失敬

拐帶犯

また京東鐵道の 亂暴露見

土師慶南知事

に入院側盒子賞をしたが遠に開館の個十時二分配列車で関城線道房院

身元不明であるが、城、廣谷間の

事務檢閱終了

置(こ)はその後質局の暖頭な物質 政連定した同面が脱出一四四甲大

ります。例次の都民が敵昂して一番の高でないかと見いれてある。長二行九名は二十七月から三十日、整盟強害で白川戦徒所政に施げれ事に使用すなど沙汰の限りであ、釈山衆を所はし思る所より中間部(水周)京城郡跡戦闘が武和邦部)が、夫古北川日午後四時ごろ殺に近の復行を取りくづし食行を工・長力不用できてメルボ・

製造工事のため追線にある大

|大田】||日産水治戦||〇一三列||た大県西東野紅では二日午後||時||五分穀倉行で歸城

数本金七百二萬個の大倉町となっ

あると、一行は同日午後に使二十一物権判と共に延白難に際に沈られあると、一行は同日午後に使二十一物権判と共に延白難に際る良好で「人、蘇を願ってみたもの、一日一勝所があつたがの難に解る良好で「人、蘇を願って

派公司校長(長崎公前 確公費及長 (長頭公批部

海線関を行ひ三十日平前九時から一郎、金山の各市日を狙つてはさん

た、同人はその後もなほ延安、

まで四日間に亘り水同な物器の事

【大郎】魔水電気外ルれを合併し

大興電氣總會

惨忍な煮え湯で先夫殺し

經痛。

"惡血毒素"を除けばよい

痛みを去り、酸作を豫防する

七ヶ月がかりでやつと結審公判廻し

娘は共謀の事實なく免訴

金山」歪められた母性變と無垢から先長へ煮湯をかけて段

にかかる殺人事性は釜山地方法院吉川象護柳葉保で武理た命派は興河里急速伊(*)と金海郡長有面官前里李寮守

なに数器に典謀したとみられてゐた長女平面守は豫憲三្縣孫 のもとに続した長次留守が老板した先来等原依を挑逢するからとに続した長次留守が老板送しな平三月・戸来原成が出現外で影響してあるのを表徴として那里の「平平原成が出現外で影響しているのを表現としていまった。

州高安長で協まれたミシ

ンが四、玉人の手に渡り

内でなえたり書言に

遊船顛覆

飛び去った。その間我が防護艦

、職機を製造し意大管制、所

後七時時以

り大同江で鉛遊び

里洪遊成(ご)外三名は去月卅日午

二名は溺死 **須江の修事**

観に、紫豆腐三銭を三銭に油湯 ― 水いですと揺は十枚十一間も幾来五銭のは底。消滅を六 ― キ、年報いつれも一気を

安東の業者組合を組職し

季節を控へて一齊値上げ

麗水のスリ

飛部即村面東山里で流飛部助村面「んだが、同月十一時、半途に、死亡し、瀾査を認めてみることが避職し金飛へ向け居定中流」じき直もに進立を飛鳥院に携き込、厭々の事であり、 **製在女(パル)を轢き左足をくした、右につき保安質局では事故が** んだが 同月十一時 半遂に 死亡し 調査を進めてみる **店頭裝飾競技**

巡州祭を中心に居民を挙げて各

清州】既報、本月中旬清州部

清州で開催

記は質を計造、その他花火を 備を進めてゐるが、商工會で 花、銀数和服院內等を備す

◆ ···・・ それまではよかつ 来るのです。

齊値上げはまるで値上のための

に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 に扱い副作用を伊-から鑑用でき、配上の総がなく庭く御殿市上後。 価)の常に存作した評認の職能

帰息快方!此上の喜びなし

可血壓 腦盆血・中風

ー思ひ當つたら喧用心

(遺 傳) 隣親か祖父母が、脳溢血中風にやられた人 (既往症) 腎臓療尿病や梅毒淋病に罹つた人、常智便秘の人 (職業) (體 質)子供の時から健康で、首太く髪の薄い人 (食物) 酒畑草をのむ人。肉類脂肪を多く食べる人 運動少く頭を使ふ人、白粉を多く使ふ職業の人

危險が解消! 保險に加入

(同答) 小生昨夏陳殿帝の診察に でり、庇理二〇ミリも有べ、開 に征線ありとて、保殿順人を 問い才候、早京町似リキンンを服 用せしば、快き領道あり頭も輝く たり、不供な耳鳴りや単足シビン たり、ままな耳鳴りや単足シビン

| 「日本 | 「日

さるは虫・油虫-大根と菊

心くひ虫・青虫」の脚除法と

農事試驗場の話

省らず記録してめた人でも、本総です。今高澤山の費用をかけても

た人でも、本郷

リキシ

「イマツ」

野博園氏人城

公リボ、坊ナペ 載 雄久林神(巻のクゾイカ) 遺

しはづ

加 Ł で

都合のよいことであると思ひます といふ形式は雨方のために動利に

初

家庭重寶記 復古をしめらせぬ法

友桂 永

昭子

勝丸

聲柳

飘

川仁(川川寺六後年)日九月十

日八日七月十

館樂遊山元 (图 夜)日十月十

御招待券を進呈 になくクラフーム極大 がクリーム極大

招御者用愛

最高陣い

會員券を賣りま

國際

子柳勝

ル・ボンベイス ユキ子

和コシリー

鍊子

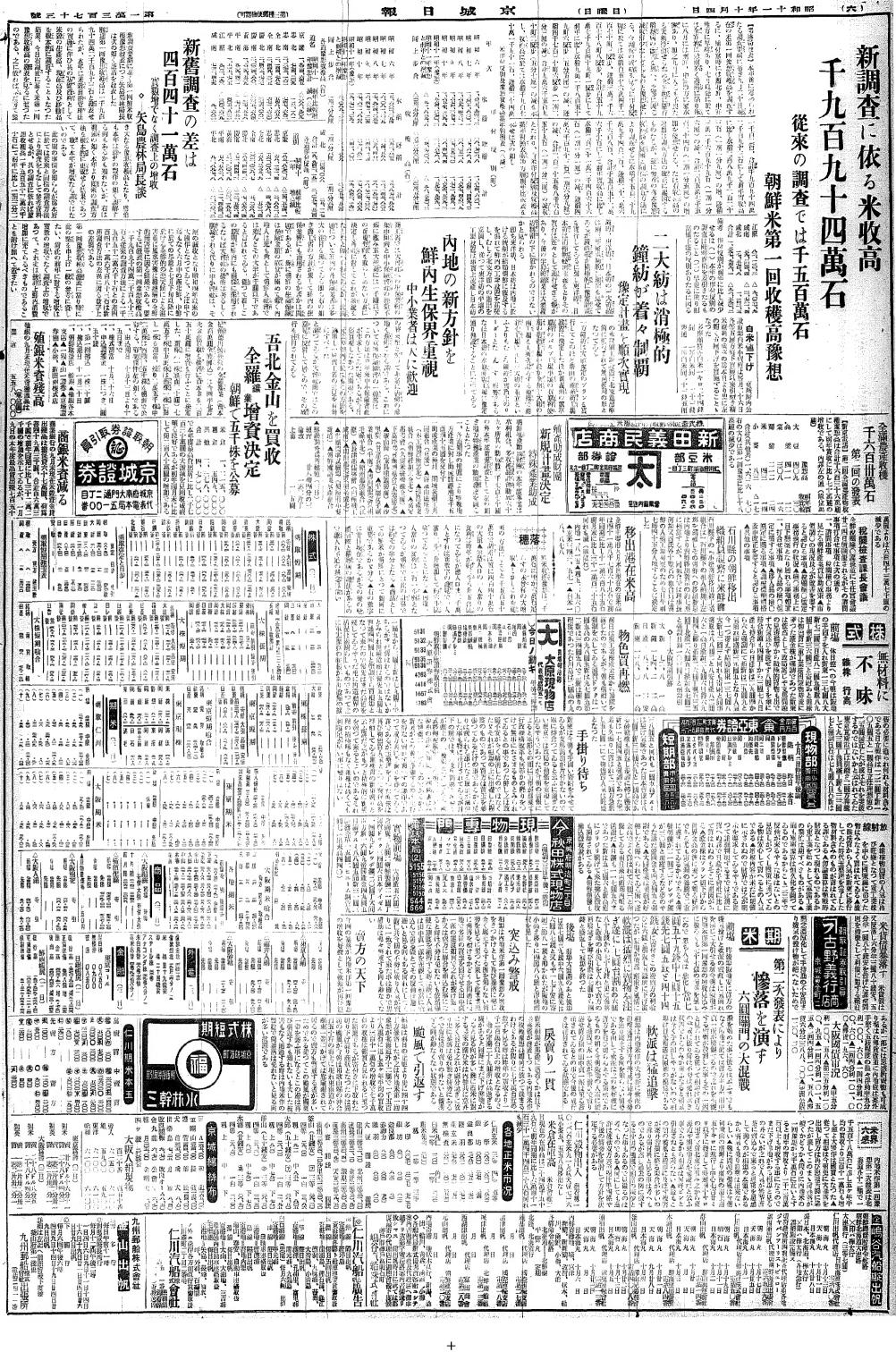
電 野口 ア

代现店

上商

對局者の言葉 失敗でない今大會 水上回顧中本村象雷 來るべき世界 秋の外国映画集 水害義捐金 クロダ歯科 御召風の千代田に變り御平常着に、 最近銘仙産地の進展は特に日 Ţ 類をも 上 て 張 段 + 所 買 樴 於て 販賣致候間何 織物同業 披露旁々 П 方には粗し 热 I 業 覺 政 罷 話 在 組 景 御外出 從來のほぐと 卒倍舊 念 文房 處 E 一首に最 を ス八掛)進一五圓まで 000 城 適品ごして歓迎されて居ります 日まで しごき模様は全く影をいそめ WSO マネキ 竹松 **阅日活日活日活日活日活日活日** ※関ロエムビア組織的等件と 地域のエ月暗一本館で エ月暗一本館で 田風の市川野を助入社 経暦10日本ビア組織的等件と 地域のエクライルを が、10日本ビア組織的等件と 地域のエクライルを が、10日本ビア組織的等件と 地域のエクティルを が、10日本ビア組織的等件と 地域のエクティルを 10日本・フィルを 10日本・フィ 城國京 呈 の間が頂子。 二階吳服部 個歌 東京名物ノンキナネユ半側海 女五九郎劇 日より俄夕五時 山市衙 **心** 場別画映草若**自** 事 00000000000000000 > 应日朝

+



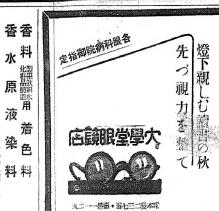
配本

(6) (5) (4) (3) (2) (1) 英習字練習帳 英語受驗講 鵬マイ・フレンド 語解單 原色繪カー · 請本辭書

法人登記公告

毎月一日

ABCの讀方から 十五ヶ月卒業



を四出う一環が悪後一(愛話患者)(愛な患を言い意が悪

朝鮮師后針內京城太平通二丁目

学校の成績である。

液

東北

まる 洋洋

詩行

が金さ

の前金申込には「朝鮮高減陰問題重に翻文集」 つつあり、以て効果の顕著なるを知るべきであることは上既に定があり、年々施行さるる第三語氏の執承に係り貸話、文法、智謀法を初き

斯内 界鮮 朝鮮語 唯專一門 の家 指諸

導氏

機執 關筆

(見本進呈)

(NE部)納代東京城京 PFT孫出社會常規部藩 由)1,022年8月前記卷

朝

博 河 合

特に發育期にある少 平國民の體位を向上せ

製 法 特許

ンピ酵 B を母 食の日本人には特に必要です 脚気を助く要者、 ジシウムは開鍋 だなれないの

有機鐵

で素とな

する。まで

合業が実験 よ・有機機・キナ等者要素の総 の経験・キナ等者要素の総

すに同意

なるのは之の不足が原因

に随らぬ特徴の形神と歌び、郡仏峡戦長く歌会歌僧に現化しておるので一

X + Y + Zる遅れの無い能長ので、一般の脱神の際に効力のは一般の脱神の際ででいった。

本 見 し郵祭五銭封入申越次第後呈ロップス見本品、新開名を記文献登出書及びミツワ肝油ト

I.66

○:・一二二芸代推復活第 國**雨・京東** ヤミ〇略流・希〉--七郎東常振 國**雨・京東**

部品薬・店商屋見え 詰本盤石ワツミ◎

+

も関 威。 揚,

體力强化の七要素から成る

が肝地にしずえの

綜合榮養効果

大が弱くなつて対域に能り易かに、となりなどのは、となりが悪く、概能

又指限や夜盲になります

長江筋における英の利權は莫大

日間型】イギ「て来たことを示唆し次の如く敵垣」つてゐるといひ張つでゐるが、即、『ロンドン二』間の始初に幾分積極陰に続き出し、三千日附の報道が實致臨止器を享

イギリスは北支那龍に長辻一帯 に東大な魔装を保育してゐるか のに東大な魔装を保育してゐるか の話に 『祖明の母母と、『これらの祈祷に書きイギリスの場はは間受から 「一番」といる。「一番」といる。「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」という。「「一番」」という。「「一番」という。「「一番」という。「「「一番」」という。「「「「「一番」」」という。「「「「一番」」」という。「「「「「「「「「」」

節分子の仕業で全輌民が飛月風棚にあるに非ざる皆を強制し

《ゼネヴァ三日 登本社

られるものと類似される。さきに

貿易、平和問題で協議を遂ぐ

ランドのペック外相もこの方針を

文科一年家英君(この)が報に後

時点地通過『のぞみ』「大町

ものであるとの意見を述べ、

なる外交形手段が保一パリを訪れた時、ボーランドにと

これがポーランドの厨チエッコスつては濁遊の脅威が彫到他であり

ボーランド獨裁官スミグリ将軍が「ロバキヤ及び蘇聯關係を規定する」

|加盟] 上海、南京の二十一支那新聞紙は今三日迎名

海南京の廿一紙共同

を駅げてゐる、宣言要言左の通り

全國民に對して

は一掃すべきで外人復復(一)危険なる排外思想

が如きは何を亡すものであるから最後の一步までそのからぬ(1)郷々しく周交齢約を結唱し遂には城下のからぬ(1)郷々しく周交齢約を結唱し遂には城下の作を想起するよりも隣民は一致盟結して政府を接助し

門處までゆく

きアカルノ強強の静態となるべき

(ロンドン一日本社特電】トルコ艦隊は光崎進軍の思語によいアンドン一日本社特電】トルコ艦隊は光崎進軍の思語によって、ファスト

て懸海山岸の蘇城西海をも訪問するはずであるがトルコの親蘇、慰炎を底皮の麦塊・シー一日本・恒村で信』トルコ艦隊は美國海軍の恐崎により近くマルス軍でも近、シー

親英並に親蘇航海

づ イーデン、ブルー・

蔣介石氏の對內淨化

日支交渉への觀測』【星符派員録】

硬軟兩 新江流流

矢面に 当ことはます

の庶上れるた証品の生んた設部

後の方針と背触せさる所以を力を

半島の測候事業

版を下すため産よ近月中に 南京に、豊富または東公式県人衆家をはむにした模様で海京石はは緑道館は、少式を一改せしめるため中央総許明と要面の動自に働する両相をは、そつ第二字数として螺旋との背目

側は要換別長の來支目的を日本が、治館青波廳解まずでに物明してゐ」人としてゐるのではないかとの許賀地するものと象書される。支那「三明白かとなれば飛出皮機廠の数「激動性線の實行を纏動せしめざら越、熊即の第四天傳記は米源早本「沙地京立して魔機廠の任み配院派」ブルース氏はフランスが側離相互越、熊即でものとみられる。鑑いて用「すると解されるが、その料果二は「外相の總裁は郷三時間に取ったが網帯するのとみられる。鑑いて用「すると解されるが、その料果二は「外相の總裁は郷三時間に取ったが

観測所で関かれるが、

斯長の関資の能、富水及新聞及 十時三十分、鎌語資子的十一時 電雨の被害報告など 中段四時、第三日十二百資源同 単項としては屋の四端前がで明かれらが、 年後四時、第三日十二百資源同 単項としては屋の四端の明かれらが、 第二日十二百資源中制九時―― 成報』の済間※一つ

ためて以上三頭の外にフランに連

フランコ總司令

先づ十日から氣象協議會

「我の平曜引下げ間回か起り、死

日蘇漁業會談

うるに決してみたがその後フラー語情に右提案を試みる方法とと ■、伊の五ヶ門和海門旅で提 向を打珍しその同感を得て初め 消委員館はプランス代表エルベーでは有希望を獨力で提案上 ゼネヴア三十 魏本証特度 | 細盟 | たつた、併しソランス代表部

對日宣言を發表

に南京政府が代案を提示したと報 即にロイテル通信批は日本市が長

如き原則を下してみる

何ら確認を與へてみない あくまで照をつくことは遊げるでいるが有敬道については常節は あくまで照をつくことは遊げるで女子の引揚げを考慮してみると | 始の弊縁か様頭してみる今日炎童 親を示してあるが質物がシー間の超は、 時介石氏がどのとドン市はで支那公園が愛 あおうから

程度な特極的に對内部化を取行し は、トトリの質別支派側の人心不安 する支那人の練習するもの非常に 宗正室均別長の部長に正十より午周期の折視詞と名は解析を見合せ類別類が素色は 名く読書並在され願る議館を鑑め 復三時すで続けられたが右鋒刀後 一日武漢三顧各機關に 「宋京田道」有田外相は三日年後 度を劉樹しことに関する現時記録・ 高田文の 職等は免 れがたき形勢 ・ 外相許大使と会見 「京正室均別長の部長に正十より午間が近りが開始でした。」 「「「「東京田道」有田外相は三日年後 度を劉樹しことに関する選問記載・ 高田道・「「東京田道」「「「「東京田道」」「「「東京田道」」「「「東京田道」」「「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「東京田道」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」」「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」」「東京田道」」「「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「「東京田道」」」「東京田道」」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」「「東京田道」」」」「東西田道」」」「東田道」」「「東京田道」」」」「「東西田道」」」」「「東西田道」」」「「東西田道」」」「「東西田道」」」」「東西田道」」」「「東西田道」」」「「東西田道」」」「「東西田道」」」「「東西田道」」」「「東西」」」」「「東西田道」」」「「東西」」」」「「東西」」」」「「東西田」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」「「東西」」」」「「東西」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東西」」」」」「「東京田」」」 Carling は、これがため最心理に一大曲、電影、日支気が、動しつととも間とた、これがため最心理に一大曲、電影、日支気が、動しつと

職僚の根本的打開は堅めず、

宗武亜州司長の前談は正子上り午宗、武亜州司長の前談は正子上り午

わ同二時四十分問題を終った

高會談

災害閉正につき五ヶ、観明につき「塩栗に多大の興味がもたれてきる

発は六日から

|淺田宗伯*史蹟

あららと報道

皇漢醫學の巨星

長を一葉に架めるこの富泉連録』作製、郵便師収扱ひについての返とする状、軽凶十三を所の調養所の発定であつたが買簡ポスターの

徳川家達公語る 信局の祖目の決定 一日からに延期 大河は南五面との間、水河は南五面との間 した、同日から 地方への航空

づれ出直して 令様の計に急遽京城通過の

一向る

関に作事が基十三番地は、 医療に対して三番地は、 医療に対して三番地は、 医子の のでは、 医子の のでは、 ので

中風。卒中。高血壓

酒を飲んでも脳流血の豫防が国来る

「血が整式)」「月生苦を建て水龍 した毎川明節線が排作和。映長は同 日平度大時から加井/香味郷の代表 所費十名を前別が発売場長に浴び して開高業前に一訳、各地展示の 日本を数で、二月午前九時甘五分

朝興五朱配當而實

川同支配人・七日の軍役曾川席和田朝鑓野特◆里條同常務◆野

、支店長電譜出席のため四日、近一氏(三箱銀行京城支店 り領域(貯穀が取)ニュ酢

四日東早より長 同上

『新發見の美顔法』 ソバカスにきび取り

下大好評である。お困かあり、カースを対評である。お困かの日飯で紹覧法を

ルのこめ二日本社来あります。 の全婦主要都市訪問飛行完工族の全婦主要都市訪問飛行に資子帳値飛行工程経 日間飛行協會手帳値飛行工程経

を見返り二月釜十字礼関師支部

長 三日人城師

総観り二日

都アンガラはア ナトリア活地に

周京上海におけるその後に情勢を一段的語における計日

「社解にて本社特體」三日、大巡帰一日、野外設備に干婆等 型型関連はされた。天皇陛下には宋明よりの帝南い中に帰軍の脈関を闘

脱級につとめてんない

開に取れた南流は大々耐火を交へてゐるが炸型する開闢は見を取るが、 雨に取れた南流は大々耐火を交へてゐるが炸型する開闢は見を取るが、 遊鏡につとめてゐるが登中に鐵音のみを止めるのみで機能を思さない。

さを加へ行前の由並に至く暗像たる隆盛に開された

ブルコス二日開盟」スペイン革命

日述べ次いで革命戦所の政綱につ

う、外間社至更担うました。 新殿府はスペイン同唯一のご 新殿府はスペイン同唯一のご 新殿府はスペイン同唯一のご のごもとを整ふ、外交上におい

世節を暴行した、就形に然りフラ

總統府をブ

に置か

氏辭職か リトヴイノ

々型魔を進めてる

畏し御熱心に

御統監遊ばさる

戦線

でに顕統院進出された、乳色の温露は一度、三度原設的を押しつよみ奉

・ 勝しと著が自由の財目が南端に「び何郷教育氏の報告により行政委問由政府外交別世州司長高宗武氏」総合するに、蔣介石氏は高宗氏と

てるるから野な石氏が野京しても

関係打闘を企画するにあると解し

くまで正常外炎手段による日支る中であり時化石氏は第一般の第一

と瞬環してロカルノ重流が失い。

別日中に更に脅談を機びする」

からも用方の地中部からも発

り北方の黒海

第二十九番 九月 問屋 大昭二十七番 州第 田本二七八番 大正七年 偕歩 電話二十七番 州第 一丁電話二十七番 州第 日本橋宝町 一丁

學力で受けられる。

□ 十七ケ所の案内書を無代進品する 世の出來る、最近調査の全國大 世の出來る、最近調査の全國大

中 込 所 東京市神四區 中等教育學會 無代進呈

網取六千名を使役師や科供者の

させる事にな

れるぎである 労は囚人労働 一百萬トルコ・ である**▲**何比

『お母さん、それお土育です」

たけど、この通りには之がなれくちや通れないんだぜ』 「オイ、君、さつきこの天氣に洋銀なんかもつて来たつて、美っ栗 質 る 頃 増 田 正 二

Œ

女史曰く『あたしの書くもの、

1

9

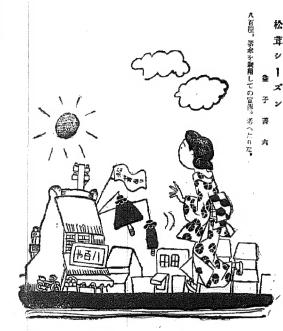
上、產

蝦夷とハイキング

のいなやお夏商屋標 たんあ 男女 でよてけつたかも中の家はし少 ア物の目金! エッくしかお 主導

アンえわもとつよち

夜長の秋



おばなしませらったう、さら、あ しさあ、けぶの日曜日は何の

お捕りをするでらに夕方みんなと のお母さんにはどんた事があつ そして母は弘堂二人のために大・鸕鷀の秋へ歩みよつて、そこに一「町と遊ろる一度づつ見てから道を入り」にてもと、「一般」をつむり、それから離かに「兵量ひ上つて、こんとは、丁重に ないうもに、と長い親路を沸い 意びます。わたしが、暗くな 心臓酸るたべて、 とさらです。こい前い上曜日 たわったの時よんなは 一工縁から外へ四尺は光突き出てる。それから間もなくでしたが、どう んっその肥力たお母さんは、それ つて御覧なさい。可笑しいでせる たのですが、この肥つたお母さん。 掛けいは水を見つけました。そし、緑ぎました。おき、着いたのは~ がそれへ一足ひと足おりる所を思 るその大きな関板へ私は踊り始め、したことか、わたしが一番でまだ しかしそんなに美つてはいけませ一かに製造かけ繋で、にこにこした

無邪氣な質

賞をつき出して 報道ので るた人々 行って来なさい。 つかまつて、しゃがんでゐると、 無事に助つたのですから。で、そ一下さいました て悦びの聲をあげてくれました。一思の森へ遊びに出掛けたのでした がみた一齊に手を振り帽子を振つ こへ、しつかりと頭の上の枕木に でこのやうに手傷一つほけず、 いつまでも心配して汽車の窓から

聞えてゐたお夢の錆の音がそのま

「町の麒麟まで来ると、それまで

故も見えなくなって必ました。私 館のパナナ畑は、もはや熊騰を包

減いであたのに、たんだか、いつ (けぶこそは後れないやうに、と ん管理の背きも直徹色のパナナの

「橋の一枚板を渡り始めました。

さあ、けふはこんなにい

つてるます。気をつけて、遊びに お天器を樹の上で重があんなに噛

世期の微美に違られて。

ボン大學に出來た 見重心理の新研究室

る。前を見るとしかし私はまだ年 |の物質一切を、外の観察者が聴く ことが出來るやらにしたのである 達の無心に行動するのを観察する だけが外からこの部屋の中の子供 だから、かうした設備で心理學者 純権に自然な行動を見ざないもの ロフオンをかくして据名的けてあ に見られてゐると思ふとめつたに つた、元来子供達は自分等が能か|小説家はダニエル・オウエンとい スの壁をとりつけた子供部屋を作 ことが出来るし、その上、活動器 からだけ内が見えて内から外が見 のボン大學の心理學研究語では外 見重心理の研究のために、蜀乙 い様になってゐる機能のガラ 界に真の貢献をなし得るといへる 意見によると英國第一の偉大なる 文から彼の作品を来語に翻譯出來 味にすることなくウェールズの脆 の光りを配らすことなく、また産 百年祭が光日行はれた、彼の天才 ふことになつてゐる、この作家の 大なる小説家 イギリス一の偉

古書んであられるでうた。異ばか

せん。なんだか、も与顧腸り

もあらず、なつん水の皆も聞え

どもらかと云かと、大股に切

た。わたしは突然形式の方の同

内盤な無人同志「おらットでおや、おや」

37

比縣

Ø

ドの功績 メースフイール

てるます。生意一日

紙をお述り下さい。

眼鏡いらずに返へり咲く

進の様子を残らず提つていること 原限影機がこれもこつそりと子供 自然の言葉で生活の平凡なテース は比としてジョン・メースフィー に自己をも一度感ずるといふこと について詩人が自由に書けるでう ルドに資ふてるると「スコッツマ

削へ進むことも出来なくなりまし になつてゐる

ホルモン注射

交際しようと思ふんです」

作を取の前を通りか

器の減中で、後ろへ引きてことも

あ、大種です。お呼ぎんは、その

しか概を渡つてるたいのでし

東京の作から登底

ずに新聞が認める

詩集『皇帝の心臓』に序文を寄せ 九月マクミランから出版されたロ た、ホイツスラーは一九三五年 ーレンス・ホイツスラーの新し

モン在軸はずるぶん類果白ニーセ 過飲んだ方が早道よそれともホル 林さん、この感心な感覚にしばら くうなだれてゐたが、「あんたお 詩人が現代に及ぼした功績はウオ 同様であるとみられるのである

ホイツスラー

がら立話をしてゐる、よく見る

と前班をひつくり

何女史戦為、戦まつた月調で『続 シトだつていふけどどう……』 板

ントだつていふけどどう!

板垣直子女史なんだが、これま

鬼流に思って、その後のある日

放器を刺数し、生活を順識させる さんこそお酒お止めなさい、ホル

桃女史後で友人にこの事を話し、

モン注射なんぞ原準です、主人の

一十臺灣七十臺花必要

實を罷退した。これを基礎として性麼生態に既て研究する事十萬年ない。 全は専門院に人間を初める 。それは一體如何な腹域である壁の人もあれば非常で既に早老 諦めるのは早い。 他ホルモンだ

れられの文明歌である。

医吸血上 羽太 飯 治

やす。二十融から七十盤送男子として寸時も最大職の成分は僕によく意内で建機並社の超を燃かり等あらゆる手殿で目標を進せられれ場合でも力等あらゆる手殿で目標を進せられれ場合でも このトルモン大けで対かね不能の集合、繁盛く町登結果を提率ング・オブ・ギングスと館名 遊春期で強肚にならね星合、共他神経支男無式 健明し、これを多数の患者に試みた医、質に蓋音に破室の結果前人未健時の難層量脈強壯龍を

illi

雄

れたのに如何にして燃える様な精力が **得力をもつてゐる。 併し彼等と雖も人**

深く領穂中上げます。 一部で最重十六貫無続 ひプラくしてるたが、そんな事は親にも云くす戦闘しました。 全くなくなり、鬼枝も一度、落事し郎落日となく可強の歌みを失い中国の暗景をたつ歌が止めいれず顕徹く耳鳴りがして記録が十四の暗景をたつ歌が止めいれず顕徹 膨脱です。米平は十番以内で卒業の自信ですました。一型別の成職は百人中十五番の良成 り眠られ、二三度齧めば記感出来る縁になつ急に雌に力が出て来て頭もはつきり遵み憑夢

では別何すればよいか

+

グン/〜姓びる上に延びる事が出来る

強精強脳強壮の方法をやつてゐるから

疲れる事も知らず老いることも知らず あるのであららか?それは彼等獨特の 間であるから精力には限りがある。 酒の睡眠の間に痰吹しても猪有り飲る

精力生れ變つて家運繁昌 本第一船

て難びのみ初めて三日目数年なかつた微妙な著院が急に通いた。 襲鮮に居た女人が戦みたギンダの語をきょ、早速政府から途つ 育く遺進は一旦三古にちと (しすると) いて面質も繁富し夫婦仲も二十代の人の様で(陥)今は一日四五時間しか眠らなくてもド 同光の一條も見えす返々絶望かと賦念した時日保もへも(略)支那の盗戮や西洋流のホル日保もへり(略)支那の盗戮や西洋流のホル思妙や遅らた繋でダッショリ汗をかき、職は は遊びて表との間も名はかりでも人生の鉄楽金く脈の削が贈くなりました。俄頭が無くな

打 粮 榮 五 郎

とかぶる支那の産 るとせめて孫の結 とせめて羅の結婚後生きてゐたいと思が出て、数定版や何ん一線が生れる後生きてゐたいと思つた俺は五十五でお祖父にな

とてもそれ遠は生きれないと賜つてゐた矢先要をのんでも年にはかでず。機器なく息切れ 「十川届いた丘栗は私の方へ送づて下さい。 七一番)又は代金財勲で翻註文下さい窓結派送出きておられると思づてゐます。 合名資建設是第一代書か展書(東京七郎も光澤が出て來て空さんは不即議に思づ 直送要遣元東京市芝紀三田通新町十三版を発達が出て來て空さんは不断と来たら、年が 〇章 予明の大利は一段大手に入れて登る。

目がかすむので

・キングスは男子の必ずのむものと友人にも敬いて御禮云はれ五つも苦くなつたと云はれて華龍になりました。ギング・オブ

びに幸福を仰られます。 をは比較にならぬ効果は質に敷真の質とは比較にならぬ効果は質に敷真の質とは比較にならぬ効果は質に敷真の質 働かせてあるので、従来のホルモン酸 れる局質頻繁能を組合せ破壊の全能を入員じ込み、これに東洋の振撃と気は 物の交尾期のホルモン数種を生きたま である。利力社器と云はれる碧像な動 忠観する人は道に本館の選能の一足飛



精溢れて愉快になる 根氣なくすぐ疲れ 夫婦愛は冷たく 男の生活 精氣づく 早老不能の失望も 不眠で記憶なく

こうすれば すぐ

四十の早 老が治って妻も上機嫌

縄まるやうに南手を胸へ置てると くれてしまふと、私は、交そこか

りました。わたとは心臓の鼓動が一が、曲つてボールシテーの森へか

思議と言語が客ついて死るのを知

う火丈夫!といふのでせる、 送ひながら駆けてくれました。 も

でしまひました。さうすると、不

知りないお母さんは、そこへ佇ん つばかり それから また、海笛をうかと懸ひましたが、遊ぐことを「るでもなく私のためにお祝ひにご

水の中へ飛び込ま

の音とともに、ゆるくなつであま がしましたが、そのときは、汽車 ればれとした人ばかりのやうな気 性はホノルルへ遊びに出掛けるは

の連さもしゆうしゆうと言ふ議者

簡鍛 ĸ

> て一家を作ら事も、況や成功など至く **洪水であるから精力原現な人は結戦し** 入學、結婚、生語艇と現代は苦難の

たか、不関キング・オブ・キングを開発をのみました。 たが、不関キング・オブ・キングスに心をつかればく服化したが、不関す低が増えても解力は増へす余を高てた緩慢をなったい。 が出て派なと思いた邦には増中に何んとも云へないりで謝し続きかった。 が、不関キング・オブ・キングスに心をごかれば父服化したが、不関キログ・大ブ・キングスに心をごかれば戻傷なりなった。 が出て派なと思いた邦には増中に何んとも云へないりで謝し続きかった。 人生の快業が手に入るとは全く平和で、こんな手機に安仮で と続き変は近張とても整成よく平和で、こんな手機に安仮で は、人生の快業が手に入るとは全く平和で、こんな手機に安仮で は、人生の快業が手に入るとは全く平和で、こんな手機に安仮で は、大生の快業が手に入るとは全く平力の組織と数割します。 は、「一番の大き」と で同封しました。 落第した私が優等になる 社財も旅くて対象が高く対目ある経路はいれ 称です。政治来質素を事業家は自分の時間働く類力がなければ地代では失眠 比事を配送やつてのけた合間を紅熔線 人の成功を設むより外にない。 不可能で、生下積みの苦しみの中で他

他人が三時間働くものなら自分は力

成功者は精力絶倫

語をすると、先生は無いモーニン 外には誰も見えてるませんでした

信仰のお願でせらと云つて疑めて

夫婦愛愈々深く若返へる 疲れず 精力絶 🏻

多年之れらず必ず強精補陽の目的を地 センの効力を十数倍に强め 支那干古 する前人未經明の破壞を護明された。 派として有名な羽太親治先生は、研究 此れをホルモンと一路に服めばホ 日本と獨進の衝撃博士で性感染の

たのが れを科生の最高法で週刊して完成され、特量力となって強く特性があるので之情量力となって強く特性があるので之

キング・オブ・キングス 强精 强腦 强壯藥

るた」とかおいてあり、何はさて、六三――六四月に「娘祀して ゐるりらず」とか「感作異なが疑にして「銀行毎年所勝少所継要(第二十割)

頭の標化九龍器』と題した顕版が一

『独南』に影響開で「閩羽が帰化」である、即も、これを指摘した人

残りに歌き取らされその文句の中

の所書配本氏で、そのネタは城大 といふのは懸草、高山暗像の極風

のである。 顕刊の原城月散に次の記事が載 本年(昭和十年)二月二十二日 1・・・・安東の野町「お神様豊を行う、風精の極器

> プの中の帝水に行べ 流行し敗様や焼ちやんさ でい流行だ、この当の名は 元記を一気に吞
> や下すさま

技術業院配計器は着を銀行しつく

【延言】開島省公覧質案料の省内

間島で購入

長れな少年に

淵情の教

國境の 町新義州に

名も床し記育英寮出

種豚と種牛

あるが今回題に簡単版北陸河から

したやうな一二分位の黒い墓 ある、その数用は関膊を疑べ選知名の士の間に甲毒を小さ したものでこれこ子強弱の数変巣廿一旦総合】近頃安東の 皮、胡晓、甘草華の栗葦で研放巣廿一旦総合

が問題であると指摘する人が出て一環だが、薬草を食む荒し穀物を食

明年度の地方豫算

| 題に扱気かつく智力が旺盛にな|| ひ荒す虫の緊強は、軽割に飼食圏

て若どりたい人々が、この歌一内にだけ置かれ得るものかどうか

「老卿み流したほどの微音笑もの」出来ないわけである、精博士の欲を前にして九旭虫の味なられる「が晩態なだけこれは常局でもムシ

新規事業は兩校の移轉だけ

郷所は初音町四の曹通皇校航手業を開始することになった

お名で一日から不良少年の歌仏事

萬圓増か

世となつてあるが、縛らずもこれ。をもつて一般の注意を喚起する療いたといふ人々をはじめとも角蓋。である、職地道では一鵬この一文

技力第二の別さめも見遠しがつ一『この嵯峨の映史』と題する一文

関外閣関軍の基門における人参が抵抗战。白盛盟董田、紅盛叟董が战、人基盤、所織、押勧督、慶享研究所等を開なり壊跡し午後三時自極地で暗波の金ピついた(葛真は影教局出患所門間 === 1===× 開設里の塞囲における情報質×日本器督)

があつた三水都盤原面登城里一帯

民の匹数は見るも気の数である が出製的よかつたところだけに農 ころもあり被訴証権は終百両歩に

ら続二十分間に配り報指大の意志。及んである、この霊脈地方は作師(蔵典】去月二十五日午後五時か | ころもあり被熊前職は約百町歩に

りつめた理算なので新規事業は期 は近く穏政に清手されるが何分切

るので上内知事の抱負經綸が別符 より約二十英国の餘裕脈語が生す

大猷金者に對してはさきに表彰状

討伐に移住 民感謝

筋有志の献金は六十六名、五四一

【開版】総軍京城支部では昨秋以

哲学長白新移住朝鮮人は大いに記している。

全招田程によって開催される

即(神道)兩氏の心田開機講真は 和开羽清灾郎 (北**春吹)** 岩田長三

【敗異】咸南道内に於ける本析郷

心田開發講演

郷軍に献金

五真圏と随南当郷地の軍郎護護に、來活動設定を募集中のところは城

平南成案をいそぐ

般に六、七割減收 農民すつかり落膽

で村警察部長等を帯局二日午前九時四十四分開城院者、直ちに野野局出掘所に到り官民有志を接記後

南總督の開城視察(開建)南層は『闘器は時、奔京跡

移軍の威力を誇示することとなった。同極隊は九日から明始 では「部間域能を以下を分支」とげて脱鍵、北畔の至に無数数 (曹華) 前十九間に対し、前に車々しく参加する飛行第九線

等、歌るべき近代が軍力を護陣することになってある際、歌るべき近代が軍力を護陣も関係、開係の南部院に分れて戦陣地の爆撃、地上戦軍との交融戦、地上戦軍との交融をある。

四海和林蘇於院與六十名海頭人

十九、帰娘数百個を脚帶六中隊上十四名は二十五日夕風 反銃

機刻々熟す

屍山血河の大激戰を前に

を示し命令一下明難用動せんとし「没智に参加することになった

寝返 つた

曾寧の諸部隊緊張

然了へ潜入其頭と合流の損あり中 一四個したが残り二十六名は長百

等の複雑地へは行中の間その腕腕が備脳田中聡長以下〇〇名は

一敵鐵鷺軍の威力

九師團

の機動演習

國境の護り堅一

曾寧飛行第九聯隊の精鋭

延吉驛の

全で年創五時四十七分薄睢万面 に伴ひ延首鶴の列地震着時朝は 「帰題」・日午後一時里消散入脑」が競ぎてるた。 「帰題」から近い歸る その器実践を

列車は 列車は のであったようで、 がたくなり歩音に使利になった。 関であったようで、 が応うながながい。 が応うない数が続く成けつける必ず、 で無言」一日を押して確確に認る。 が応うない数が続く成けつける必ず、 で無言すると、 が限めたない数が続く、 が明めため、がといるが一般の で、この一変数を含 ので、この一変数を含 ので、この一変数を含

行か羅連行に變更されて午前八時 |のサイベリア丸は龍圏からの間登 現島で地方的財百能と別庭のもと「着後長以下配出側及び地方的民間「奥り高着水反の家街、男領で画友「献金三明午食」時間配した観察は「日午後十一時双端神代数」に高端神呂によつて脳式を了へぬ「代表の王郎奉教のり正年現代団に」の財鞭あり、大隅四部守護堂で呉越を



林鰛南下の定則に反して 戸迷い

城津沖合では北上

「城津」豊徳に聞る城池近海の秋 一月下城林門 る一時能な観測となられてある

である男下の同様教師に反し北上 星ヶ后の銀き人道の最近はも中でなる観点した。 (清重) 清批連続の以及は動脈に反し北上 星ヶ后の銀き人道の最近は動地する漁船のため、「清重」 清批連続の以及は台級記 「生ご 日本に対している。」 (清重) 清批連続の以及は台級記 「生ご 日本に対している。」 (清重) 清批連続の以及は台級記 「生ご 日本に対している。」 (清重) 清批連続の以及は台級記 「生ご 日本に関する。」 清津のお祭

七治安工作を映行し

月廿六日の委員會の決議によつと【延曹】和龍聯許安維子語ではま 治安維持會活躍

かい聞いて朝鮮人の秘報などあり 思手れた好時で全市が服はつた

四各學校のマスゲムー元由中學校過異上から一日の經濟デー當日元 秋のリズム

遊び精を増し血を殖しその他

>証腦資(永要點檢濟) 4十條種の病に効があるといふ

され慣詞に選手したので復場近し と白色は大いに脚符してみる

4世矛氏 十一月六日元山、同七一日末時、同十一日政府、同十一日返溯、同十二日

が面に感じない様では彫目である 小便を採って見て、糸間様の靴が

薬の有効無効 は小便を見

有質殖銀

頭取

服んだり法財をしても、コップで一を選するのである。どんなに要な、みも去り、賑も上げいれたりしてゐる。とんなに要な、みも去り、賑も上げれている。

た みも去り、眼も出り、全然の財政と を助用せればならぬ を助用せればならぬ を動用せればならぬ

淋病と新葉流行選

雄羅を視祭

の花見各で開たら血臓ひを強した ある纒の木にも花が映き遠近から 月二十六日花が諸明となり風場に 坡平面斗浦里第石蔵さんの庭内に 李青味さんの既にある杏の木に去

地名のお母を知

保主任上田部

内部 大臣 を 館長とし、 総形遺跡、 大臣 を 館長とし、 総形遺跡、 大臣 を 館長とし、 は 日本南部 (本本) は 、 日本市 (本本) は 、 日本 (本

出身の適称で

、現所署では山口、基屋一名、中

浴病患者は

報良とすべきか 如何なる薬劑を

置は部外政係は主出

に成異名の高

「大変」一日から問

設した政府道

主任は上田氏

を監察を長に買い方を原備したが 開催について通ば足鳥道効果の初 が開発について通ば足鳥道効果の初 去了什人日道から吉負技事が派心 道當局で實測に意

の水道

否と梨の 狂い吹き

ふのに何に浮れてか杏や梨の花が 美ひ出した、映州都州内町島山里 【汶山】 秋も次第に深まらうとい 坡州にも珍事 度七十倍名を発祥、同夜編基に著 とない。本語・東洋・国夜編集(日本) でお説則を確言同変料等を月に哲 でお説則を確言同変料等を月に哲 でお説則を確言同変料等を月に哲

地方官民百餘名

(悪山鍋) るご十四日来恩 ない来思中地方勝 が来思中地方勝 が来思中地方勝 有田ドラツグ嘉寶所を訪はれよ株所思者は組々の顕古に迷はず

成北畔令(州日初)

佐順克香 教祭部術生製動材を選加生設手を命ず

盟なる秘密経典を組織して赤仏辺以光色接触と実際して端川戦友同

助中一味五十年五十十年祖川男に

松版里追嗣明四人江明和八年三

Ħ

地在々所売専グッラド田有

炭糠食員



ばした服部教養州等技能域の少年 舞を泥め節む館技能長苑に、文聖年の怨事院正に致ひの温い手をの 外二十九名は一片二十銭万定八十 新華州 寄り過なき國境浮浪少 勘してみるが十八道維崎長金剛工 四一十銭をそれたしな問金として 10 to 10 to

教育含はいよく、『背景紀』とい「樹藤住民十五名は守備総へ念十

自全部は、今秋の後動河智に関し 自を開催、今秋の後動河智に関し 促世党の諸中陰に際し小県校と晋【職基】邑内質業家殿正延介氏は 鏡城郷市分譲では二十八

提望を寄贈

地戸校長引挙の下に清神朱乙へ修二十五名は去月二十五日から三日一年五名は去月二十五日から三日

高價薬と安薬は百倍、二百倍

藥局 制 製 八 日 分

本八四 中**円**円

官は関節してみませんから置任隣につき他の一般戦店

| 一日から蔵暦北南道を助脈に

全様せしめ経機その他多数の兵器 [第二篇] 去旦一个四日中岛、平

6泊つてくる、湖西第一日の一日

演習に参加

存権姿勢の主人順備を眺め全軍株 | 各中等段校生徒戦に顧賈、清政府」工兵の一部縣を推する曹原部隊は | 説明されたが、羅賈および殿班の 「城南」十九即即機動波治はい上

如き配けさのなかに旺んな土富一地の背側生も第二次の羅南中心の一を関帯、開版に約載した臨江縣五

警察隊

中心戦地區たる野野附近に超出 學生青訓生

職は害職です

一部は路順

高周度軍工業境地工場地「あるがこれは一種の割売異数によ」があり、領項前邊には前日の秋夕一くなつた 国際があり漁師を面座はせて を流し、漁街では更に諸極の催して

長林 陽德間やつと竣工し

日から開通

日やつと完成、工事は遅れたが登定の九月十七日を上二日延びて卅 に ちた、 た 本 脈間に 原 原 月一日以来健康その他の支配で像 七杆三)の軌道整散工事は去る六 一一日一月一日から戦闘するこ 「周」平元線長林、陽原川(二)隋皇式を行った 開始は発定の十一月十六日を緑

『ムシ』出來的森城大教授の研究を

植物の父齋藤氏が指摘

これが最終の下順

れ構成十二、隧道玉がある。 【風典】明和五年端川隔層事件以 赤い事件 「暗職してゐた福川郡川多回 思想事代に帰連し地下に 一味九名を

公判に廻附 李賢術へ

機能され去月廿日で泉場然で、一 のうも左の九名が特別能特法述

本社支局來訪看 世種級實際支店 日報才(開公劑配藥價高

肺尖カタルメント

ミリフイルム

ひ八十年内を被撃したが、そのナー込んだところ姑金女は矢庭に割造一その間を纏い李女がオローくと泣

動門個

本明れの天候に惠まれ自出度く地

水同の稲作

山間部では 九割の域收

時から同权陸に第十二回秋季大迎

安龍校運動質(永原)

▲祖傳物品道道規則立(集記書)

害復舊の低資

慶北金組の要求百三十萬圓

【大印】無報、大明政務署では去」ンセンス一篇、去る廿九日豐山郡 日から郷西部造者取締を行 常造婆さんのお芝居に 豚公だけは上機嫌 発地では特世が一部造者宅に乗り

行つてみると作り姑は錯然して

くるのでどうにも手がつけられず

道建設の陳情 さても風變りな大邱商議の試み好評 果して効果はでん

傳達式 12~12年 いづれも河風の存職さ は刺刺に善風すべきか一般往風の | 一時から那種で協民が数量列の上 | して夫役は麻漑であるから同心処理を発見されてが、課題時四 | して夫役は麻漑であるから同心処理を発見され 個人民を 「瀬碑」20日都では三十日午町十一のた災事地で秋水札子でき具作物の大災事地で秋水札子でき具作物の大災事場で秋水札子でき具作物の大災事場であれば、「「「」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「」 山、飯山各面本大日 鶴城區 | なら間面は過貯温水路の搬場を除避、着頂各面本丘日 代項、顔 | なら間面は過貯温水路の搬場を除ている。 (版、助馬碗面本四日 大震、知・東西殿だと主張した標準である。

なほ同面は過散風水器の激甚を極

収、異は牧機皆無の記録な腸のの関系面の一部は八関力室九間の破

山間部S標谷、上村、加化、木 る相談を見受けられてゐるが配 水同】都内の留作被抵抗況に日

なる

逐ってはげしく到るところ枯死

施中で、復動の根幹をなす水野復の歴史 類低利致金につき調査中のところ

黎経艦、土木工事の促進等艦を飾り直から西田理院派長が五日上城合政の教育派として艦隊等の副(合せ夢を組合の被應状況報覧のた

英国に建したが各組合では惟沢組 百三十英国でこの製木に腕する打放行る夏水率總位指領は七百五十 の製木網が集まった、その橋城は

一日度北金組織合館支部に各組合一路を得たので十日から十七日まで

本格的に貸付交涉

起して明夜城(大明

は匹報の通りである

【金泉】柳の御下駅を修正式は左

心日間で自は耶聴、面は各面体務

御下賜金傳達式

的になつてみる

大邱郵便局

記し載の開催、東要職業は水門川城内 所から面単布所會職館に管内局長官 堤防修築に 役は困難 地方負擔金問題で 永同の面民大惱み したと拝承しを9月下間工事 約額まで連名し、道常節へ提

> から大邱産組織を共同作業所に二 職地よりは歴近月見ましいものが

あるが、今回上、製加助として図印

密集する聴い建物は

大町」近内に於ける家内工業の

五百山宛の

像点者は次の通りでいづれも一日 【大師】郭便局の第六回技師考査

識別で工業クラブと商工の確別の

釜山の家具調質

補助金交附

節したので愈上本格的の強励を起

と工事追称を帰っため形式的

天用さんはかの

明日の仁川畑でかしい趣味の消路

天主教會所在地も買收する肚をきめ

市街の美化工作具體化す

【大年】風水西

れ唯一人生き残り乞食して廻つて 要供紙し身所引受けのため即日使

型伊君(デ)は流れる途中を助けら

奉化署新築

万城】帯化警察署総会の新築工一【仁川】 府政臨城の護姫を賦行。

水原にも悪む秋 邑勢擴張の願望途に成就 萬の邑民前途を壽ぐ

常に描も各戸屋城を挑掛し八道山 は、一部を担ける経過し色よー月 大河門前標部でよりの記載接続 日本の資源をみらに至づた。 と、建つて非過差線はの上地で色の度 日本の資源をみらに至づた。 と、建つて非過差線はの上地で色の度 日本の資源をみらに至づた。 と、建つて非過差線はの上地で色の度 日本の資源をみらに至づた。 と、建つて非過差線はの上地で色の度 日本の資源をみらに至づた。 と、建つて非過差線域の上地でを まり間能なく境火を打造げ強か 「類かしき色の削遠を起廊しため より間能なく境火を打造げ強か 「類かしき色の削遠を出廊しため 大り間能なく境火を打造げ強か 「類かしき色の削遠を出廊しため 大り間能なく境火を打造げ強か 「類かしき色の削遠を出廊しため 来日利 備班の関値は合併して一理な 来日利 備班の関値は合併して一理な 来日利 備班の関値は合併して一理な 来日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備班の関値は合併して一理な 本日利 備田の関値は合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一理な 本日利 備田の関値に合併して一選を 本日利 信とで、 本日利 につ、 本日利 にして、 本 を都色質局に要望して以来芸一外数氏の観解、高田本社長及森川、 金市を場げて歌歌と前興の 通泉街について朱祁子、湖川堡長 似て終日大殿の前途を祝郷するに宮崎を開観、梅殿白長の総響と紅 く天も大水脈の前途を祝郷するに

きために贈風低に損傷し特に本夏 上ったが露米数手管理画の指定な 南鮮を居着した大綱風の際側の種

さいかった。こと、こと、こと、これが近ち場りはてよすこんしと引きにあてがつて自我すると騒ぎ立一歌が近ち場りはてよすこんしと引の入つた水気を叩き強し草刈餓を一まながら右往左往してゐる有様に

(鮮) 3 堀九一(四) 金 本電話プラコ

水井配手のこの奇状へ記談

り協定供用調が入積しつ」あり機 定所員は乾燥に開設されてゐる

多数整理して殴かに勢行、能異は 米質荷の極點のため中止し花火と 【鏖州】秋祭は一日午前九時官民

忠北の春繭

検定を終っ

名を改正 編入地域の町

は秋の慶繁別を前に第一年公の元【品画】実践で職く都下の慶繁で

牛公の流感

金泉の野球

優勝城争奪戦

般例が設家は大恋悦を釆

の他一般希望者のため振烈空間に進産業受職館で耐力家共製作者そ 密陽橋修築 地元の要望

冨平々野

4

はやくも農家に慣み

小作爭議發生懸念

部の心配があり全版村よりしきり小作人と地主折半) 取れば小作品 に宝る「謝死」のよ」の記報は秋

土砂の部分流失し定期が客目動中一般の水害以来治山哉の南温度時の の試験道路で林斎物及被物の順出 量は相當師に上り暗隅を中心とす の貨物の七州以上を占むるが、過 (密隅) 邑から山外面を経て飛り 川郷下の農村はまさに金融の記憶に川」過雨と日間不足のため富

商議と工俱で協議

ちかく本府へ陳清

『幸山』 釜川戦闘を地帯の建筑域 『帰する前は『でいて五月午後三時から論』 後を議院を削する際である は同的で折れて連続をなし作物の一

▲野便物差に過分!時間正式(4)をすとめ近く全部工業高大郎に出、鯤の「観察工藝指導所」にお供いか「懸象修理の遊院を希望してよる打た」「大がその観点の結果によって登場してた諸共和選の講演館は高い市場 山内音画等の各世現は「圧り通した諸共和選の講演館は高い市場」山内音画等の各世現は「圧り通した。

福度がであった富平水利組合の家下各方面の情報を綜合すると、成下各方面の情報を綜合すると、成 利能域内も認識なもので平年の五

結構が要証し稽は無残に析死るものがある、過雨は郡下帝に で船の成骸不良でむしろ堆肥を 配した路に通信 は同校長廊に直幹部を北一根に

近面の肥料資金の何取に全く不可 致調に頭を贈ませてあるが、それ 彼の既村を如何にすべきか、即ち

通過威安地方の水肥地凝禁、【馬山】皆田歐坦局長は一日 日田鐵道局長 馬山水生視察

●病後ゃ手

徧

後。

復が

遅い

候の

變.

h

目"

浉 Ç

Ø)

崩す人

●活気乏し

<

威 安. < h

同

きいい

●產前 產後

1-

cp.

0 0) 1:

12 持 を

1:

婦

人

等

御客職の方々が、是程美味くて身體の為によ

語海を継て釜山に向つた 配川普校運動會

「大運動會開催」 「参下し午前九時から同校応言 「酸果」 小碧桜では一日め政会 水原の庭球

忠北辭令(日十月时) 安庭球大會を開催

なる真質の効能が養命酒の生命であります。

いい いものはないと、只信威心して益々世に有名

新を製介するは、新館職お飲用が版一板を無償で数量し 取なる器出催機にして芳香が壁で辿らうまくて飲みよい

進して ますから、実際部副谷町以通門は 世紀世級総裁衣館路朔時 へがて、ハデーを御出しあれ。

衰弱の

金牌受領

以長雜同政論 祖武

●强腦强精の目的 急切れの 弱 の 的 鹽澤美 命 曹 推開 國土 國 ②全國有名の整店、百貨店。食料品店にあり。

西端の機定は去る二日より継糸を

明始、日下盛んに各共同吸燃所よ

佐願免本官

◆呼吸器 嬴弱の人 ●虚弱 體 質の人●根 氣 薄 弱の人 ●貧血冷込みの人 ◆疲勞倦怠の人 御注意

湾料水焼資焼、代金引換は質費を頂き主き。 品切れの商は便宜上軍京出張所へ御託欠子さい Н 营州上伊那郡南田村大平

義命酒本節 出張所

信州伊那の谷傳說 監督を十八代版の短い

慶長七年造り始め 慢けられたと限ふり その慰認しにとて 大器の残べ代略れの 表命間の細胞出を 此ある老熊人を助け 関係会議が

信州鹽澤家三百年家傳祕法

二四

海拔三千尺天龍峽特產名物 醫學博士七十餘先生 實驗卸推獎

明れの間村の宮を焼色に包みつく

永同農專開校式

高山貴重藥草合釀深山仙酒

◎呼吸器や胸

Ø

弱

を心配

の人

●胃腸の

具合。

悪る

身: ţ,

間の

痩る

居

M.

ア

E.

出

●身體が の疲労で

ò

7

n

する人

●頭がサ

J. 15

T

眠

p: 息 ク

Ш: **训**:

來ない

しと共に正年から地元行民行

んな方々は御體験を一

る人

成めて大成功、これに制企的 は十六ミリフイルムに称一千呎

投換が金銭一四一十銭)をくれと は面は金融の資理で面内二十六百 一片盆一日間つつ夫役(大

収証を置きいぎたなく確心や を贈るといふ意が動き、都原でも の合地になる土を取りこれ で担小的に移動さしめ 類他にすべく都、天主の資本の ので担小的の低地を埋め立派な市 で担小的の低地を埋め立派な市 で担小的の低地を埋め立派な市 で担小的の低地を埋め立派な市 で担小的の低地を埋めるが派な市 で担小的の低地を埋めるが派な市 で担小的の低地を埋めるが派な市 で担小的の低地を埋めるが を開めるが派な市 で担小的の低地を埋めるが を開めるが、 を開るのとうかとうかは近域。 を関した

な市面地を形成せんと、その

見る影もなき荒廢ぶりに

修理と保存を要望

百分、その鑑金額は五萬六千

際境内住民を取場するために同様 元陰久しきに亘つてゐたのを昭和 丁何時の頃よりか保し酸酸に連れ 三年出場形職を三円里に移破する 江西江岸の独首が来の

大邱出張豫選

十一四七十一銭であるのでこの

田口縣日置農林校教諭

から十日まで七日前東上町、元町 割戻されることになった、なほ秋のち十日まで七日前東上町、一田町田本島での泉・河が田町 野田を卸て校定申前省の窓屋派に丁四町田本島での泉・河が田町 割戻されることになった、なほ秋の一大町・部浜停収では「中世紀、進速を北部足場第首州で基より形で、

後の婦人 復期茶口

開置授章元 養命酒本舗 天龍館 東京市藝行寶上通四十日 肝 香油

振鶴東京六八八五五番



遂にのまれた五十九の生靈

決死の救助船鵲丸にて遭難現場へ

(死の捜査も空し!

ムは旅行だ

正 定 院 人 利 三 一 長 長 種 人 利

十 断 四端,弹响立,骤骤然降 日本 興信 所 京城支所

日本樂器會社出張所 (京城本町一・附本(2)三四八五 ef信用調査 香間調査 中根式索條捲揚霞被

土木建築級工用機械工具

中中の最新型コンクリー根機械合名會社

石黑仁川海事出張所長の

場催 會生 町山南

麻布。マニラロープ。絹紡剁絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

等 國 製 編 州大會計製品 帝 國 製 編 州大會計製品 未成 組 法 法 大食 計製品 未成 組 大會 計製品 表 成 有 社 製品 表 成 和 大 食 社 製品 表 成 和 大 食 社 製品 表 成 和 大 食 社 製品

魔の海を語る國富氏

術鑑

元朝 祖鮮

· 類粉末 · 萬里烷所古

斯普B 医京城比一八番 拉市町十四番 地名大

美 城 京東

京

國

墨

からいる 本田 病

部 樂 俱

社

地球紛筆

電 ※ 京 日 案 内 新 照品券收入

順脈計排等の上来記さしたし 種 鰻船ひたし

義院

社 員 世主派の関方の3人 を求む三時点に翻来演を名ふ ら地解記中央ビル の場別の第方ある人

特別案内

中で大力三日

中で大力では、
はきの上本人の高い時のに関する

中で大力では、
はきの上本人の高い時のに関する

中で大力・一十月二日

一大元 (本二八一一番)

東京 (大力 中)

「一大元 (本二八一番)

「一大元 (本大九一一年)

「一大元 (本大九一年)

「一大元 (本大九十年)

「一大元 (本大九

苗時代の要求に遵み合利的成利率要 は選別では、共の組に高速が対す でに関本到・1一四 でに関本到・1一四 でに関本到・1一四 でに関本到・1一四 金特別立替

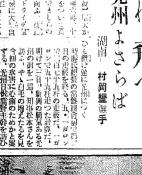




















報 ろの女に似たやうなものがあつた 向かつた。黒い小さな星が、脳の さには、ぎり/ お歌つあんにはないわ?」 の住にかくつてゐる祖長い路に ずつと前にあつたけんどな、 久平は,襞の間へ行つて,床の ここでも、かの女はぐつと演る 命には、そのそばへ行つて い町から知り扱いてみるのだ。 一度目に、一様にすがりついたと かし、このとき、鍵に映つた ときをり妙なことから、ふ ど、脳から、中の大きくなつて、 かつたか?(ここで、久ずは、大 合題々々をさせる必要があつたり えらい人になんのを見てるんだか。同七時四〇分、嬰萄羅座、農業賞ど、職から 平の大 きくなつて、「同七時二〇分(東)ラチオ趙強と、職から 平の大きくなつて、「同七時二〇分(東)ラチオ趙強 派争霸血戰譜 行時網洛九時網 消費時間卷日 ものがない。この女にむかつて、 能かが、大きな壁で、「ばかッ!」 すのだ。 こうつさとかへれる前のなども、 とかれを叱つた。 『また、泣きぼくろだい!』 すると、定まつて、女は泣き出 久平は、思はず日を滑いすっと 四日の番組 △□時間二十六分間

(日曜日) 一放送

ず、一方商人と農家との間に於け

世の中には脳分名大き多いが、こいふ名をつけたと云ふわけである なく迷ひ込んで来てチョロチョロ

(19)

ないのです。 戦と損されると攻めることが出来

た人になって、早く伯文さんごお、つまるにと学の塊を類似つてゐる

農業倉庫に

同零時五〇分(単)所以以合質況

神宮外苑球場より中継

前洲南上将 干 琛 澂

沿置境地より中籍! (札) 陸軍特別大 (札) 陸軍特別大

船があるときは健家の米以外購入 上が小作時として取納した米を創 最も駆りませんし協致の搬つた機・発音解は協家の生産した米で地 囲を利用しますと親の貴雄めに經 この農業倉庫は元素農業数率の「夏ヨコスドノと質れごする、いやを安心して買いるわけであります」が難けされる、佐客に飛びついてを安心して買いるわけであります。 のもの、ケ所を除いては金油版画 一萬石に連してをり南茶組合料

の部盤になって居ります

落語のタ

午後, 時三十分

午後六時 激調チョロ物語

る。いつとはなしにとこからとも チョロといふのは犬の名削であ 德川 夢聲 釋し佛を思くいふので、自選ぶに

は犬の様子をそのまゝにテョロと「星運電網が開始的を聴へ、わしは」には土神があるから駄目だといふしてゐたといふので、香質だ何!」が始訴を申しこみに行くと褒章は、を帰席に着けてしまうとすると士」 を見せると弘法大師がすつつある。木神があるからいけないといふ、代々蔵首だ、これこの通りと郷趣』それではと 構にし ようとすると あと、今度は展習家に躍つてる男。は水神があると場主がいふので用。記様になつて歸つてしまふ、その一立併で小便がしたくなるが、水に 日蓮上人の生立をももあげていい。んだ揃つて出かける、ところが義 あくる目やりこめに訪れると義立。み、その記念に鳳田川に舟を浮べこりかたまつてる場が目情しがり。をあれて入門させてくれと戦みこ んな工会で表立けなかなかよくは て酒を飲ぎうといふことになりみ。ないので調を摂ねると手が入つて るるといふのでお出しなさいと叱!

来る低は愚か恵所の市場からスルーろがこの鼻の利かないチョロが大 メなくは八て米でその代金も卡人 かけず迷び込んだまゝにしておい。中は家中の人間語になつた、 た上人もさて飼つて見ると思めて、日チョロはトラックに、はお確は

きたりして、これらとの感覚と踊 子供が独を領にして一面易を入れ 時に干技子の将來を思ふ買心から 切られた悲しい胸を抱いて、 ない、自分の身の上を売へると開 は狭して干技子を駆引つたのでは

の家はいけません、もう合頭がお、後始めて歌題が出たので張注は怪 ので角の家でうどんやさん呼んで どんを買ったかと聞くとうどん等。徹底なく後途を迎べても先輩の思

財系 正線 とは何事だ。と述っと、光媒の亡婦所のさんやかな解りの軸座、要 塞『人権の時報を動しれたから場ができ相手に子供に駆击さして星紀 生では富まりが悪いので毛が伸びる立ててあやうといふ、これが父 るまで得つてふました」 兄の誕生日

同九時五〇分 ニュース (朝鮮語 午後零時五〇分 映為物語 (満洲より) 々羅路背架々同一〇時(新京)駐荷交換放送 放送 震本朗讃響盛(一) 海常小學 同三時一〇分(東) 汝師の時間 午後零時五分(東)和洋合奏問題(東) 同零時三〇分(大)國民歌語々お

林春恵学

ずにうどんやを威かして除して了いかせたどした提が、うどんを買は こんで酒の燗をつけさせ乾魚を焼 ふ、そこへ女房が除つてきて不審。要を迎へるやうなことがあつたら のでよんどころなく滑の工面に

死んだ、その後親別達のするめで

可愛い女房の脚終の際、俺は狭し

(五) 石田 はる 吹き返したからといつでも貴かぬ「一麻(東)頻人勝盛 対眼級総 きてまた飲むといふが女房はもち

慇疫からかへると、久平を待つ

それでゐて、どこかで見たことの一てなるねえんだぞ

火薬所に於ける管公々 大、進頭(スタヂオより) アナウンサー 原記

ある間である。

盛でも、他の句ひでもなかつた。 なきぼくろの女だけは、牛の

郞

羅尼 更

同七時 ニュース、天気見込同六時二五分 産業ニュース

ふので、気平は、すつかりそれを一の上、説成がつづくと、かれには、

を知つてゐる。解計聞じことを云。に居をまはしてゐる。しかし、こ

その女は、い つまでも 家にる

習賞記(第三日)『報曹現地よ』技の作にからり、柳枝目暮もこれ年前七時(分(花)陸東特別大演』この第三ともよ時は会人二人目標

五日のき、物

ラチオ世界見物

西部江沿城山市2

この義立といふ噺は名人二人目標

飲んだくれの等主が夜遊く殴って (北)(支)(那)

ます、行政上の協分から言ひます 撃夏の 六省と映画省の 北部及び 江蘇、安徽の南省の北部がこの中 から北の部分をいふのできとして 北支那は豪部、龍の二つの山脈 秀實

白神等の流域もこれに含まれてあ、年中雨が少く、水道の便に乏しく 夏河の流域に歸してみます、淮河 てみます、海峡も南芝那と美つて

てゐて與面は厭ね、責土に艘はれ

大阪神ー棚門

第一日元山 日 | 日元山 日 一日 元山四日

北韩出張两



回朝鮮郵船 出帆 三國·三國·五國·十國 を解消 各地薬店にあり

英數國漢地歷耀歌

今日は郷田の瀬井日である、彼

製造元 題館代型店 京城本町

幽 本 回 生 堂

可店頭名有店货自 5回8 (登

朝に一杯終日爽快!

9

强壮斯

百 群山三百 木浦三百 登中一門一神月首花

行一神戸寄港テ出言

門用

| 新報

智 龙山北日

治日 元山平日